

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【公開番号】特開2007-215838(P2007-215838A)

【公開日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2007-033

【出願番号】特願2006-40928(P2006-40928)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 B

A 6 3 F 5/04 5 1 2 K

A 6 3 F 5/04 5 1 2 V

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月28日(2009.1.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

固定枠に対し一側部を中心を開閉可能に軸支された第1扉体と、

前記第1扉体の前面側に設けられ、遊技球を貯留可能な球受皿と、

前記第1扉体の背面側において当該第1扉体に対し開閉可能に設けられた第2扉体と、

前記第2扉体に設けられるとともに、当該第2扉体の背面側に膨出した形状をなし、前記第1扉体の背面側に配置される所定部材の背面側を覆う被覆体と、

前記第2扉体の背面側において前記被覆体の上方位置から一側方位置にかけて遊技球を案内し、前記球受皿に対し遊技球を払出可能な払出機構部とを備えた遊技機であって、

前記払出機構部は、

前記被覆体の上方位置に配置されるとともに、遊技球を貯留可能に構成され、遊技球を下方へ導出可能な導出口と、当該導出口へ向けて下方傾斜した底部とを有した貯留タンクと、

前記被覆体と前記貯留タンクとの間に配置されるとともに、前記被覆体の上部に沿って左右方向に延在し、前記貯留タンクの導出口から導出される遊技球を整列させつつ流下させる誘導部材と、

前記被覆体の側方位置に配置され、前記誘導部材に連設される中継部材と、

前記中継部材より案内される遊技球の払い出しを行う払出装置とを備えるとともに、少なくとも前記貯留タンク及び前記誘導部材が導電性樹脂材料によって形成され、

前記誘導部材の背壁部において、少なくとも前記貯留タンクの底部の左右方向一端部に対応する位置から左右方向他端部に対応する位置までの左右幅域内に、当該誘導部材の内部を視認可能とする視認用開口部を設けたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記視認用開口部を、少なくとも前記貯留タンクの底部の左右方向一端部に対応する位置から左右方向他端部に対応する位置までの左右幅域全域にわたって一続きに形成したことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記視認用開口部を、遊技球が通過可能な大きさに形成するとともに、

前記視認用開口部に対し透明部材を嵌め込んだことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

**【請求項 4】**

前記誘導部材の底部に遊技球が通過不能な少なくとも 1 つの孔部を形成したことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の遊技機。